



佐々先生の 海外・帰国 あれこれコーナー

このコーナーでは、いろいろな立場の人たちの声を聞きながら、特に海外に住んでいる保護者の方々に役立てていただける情報や、参考になる考え方などを提供していきます。

取り上げてほしいテーマ、ご意見、ご感想などをお知らせください。皆様の声を聞きながら、このコーナーをできるだけ実際に役に立つものにしていきたいと思っています。連絡は、Eメールで、sasa@keimei.ac.jp までお願いいたします。

啓明学園中学校・高等学校 校長 佐々 信行 (さっさ のぶゆき)

ハンブルク補習校、帰国子女受け入れ担当（横浜市）、日本語イマージョン・プログラム教諭（バージニア州）・ワシントン補習授業校を経て、現職。

帰国生を受け入れる学校

日本の学校が帰国生を受け入れるとき、帰国生だからという理由で特に配慮はしない学校も少なくありませんが、帰国生を積極的に受け入れることを方針にしている学校では、帰国生をスムーズに受け入れるためにそれぞれのやり方で受け入れの手順を整えています。啓明学園の例をご紹介します。

◆問い合わせ

帰国生一人ひとりが、滞在した国、期間、年齢、海外での教育機関、帰国する地域、帰国する時期、兄弟関係、住居の状況など、さまざまなバックグラウンドをもっており、それぞれが違った力を持ち、違った性格をもっています。「帰国生」という言葉で一口にまとめてしまうことは適当ではありません。どのような学校を選択したらよいかという問題にしても、これまでの経験を参考にしながら、一人ひとりについて個別に考

えなければなりません。啓明学園に関心を持ってくださった生徒や保護者のみなさんには、まず国際教育センターにコンタクトしていただき、担当者が必要な情報を提供します。その生徒にとって、啓明学園がよい選択肢となりそうな場合は、受験資格の確認や、編入試験についての相談にも応じます。

◆学校見学

学校は、子どもの生活の中心となる場所です。そして、学校の方針や環境は、学校によって大きく異なっています。自分に合った学校に入れば楽しい学校生活が送れますが、合わないところか充実しきれない数年間になってしまうおそれがあります。パンフレットやウェブサイト等でもある程度のことは分かりますが、学校選びに関しては本当に「百聞は一見にしかず」です。啓明学園で幸せな学校生活を送っている生徒の中には「初めてキャンパスに入ったときに、自分に合った学校だと感じた」と言う人が少なくありません。校舎や回りの環境を見るだけでなく、先生や生徒と実際に話してみる機会があれば、さらに学校の正確なイメージがつかめます。啓明学園では、すでに帰国していてすぐに受験したいような場合でも、まず学校をご案内することになっています。

◆事前面接

国際教育センターの担当者が編入を希望する生徒とその保護者にお目にかかって、今までの経歴、海外の学校の成績、先生からのレポートなどの資料を見ながら話し合います。啓明の環境がその生徒に合っているかどうか、受験する場合、科目等が異なるいくつかのパターンのうちどれを選ぶのがよいか、入学するとどのような指導を受けることができるか、住所が決まっている場合はどのように通学したらよいかなどが具体的に話題になります。実際の学校の様子をよく理解していただいた上で最終的に受験するかどうかを決めていただきます。



始業式で海外からの編入生を紹介